

スマートファクトリーの実現に向けて、その前段階であるスマートラインの開発。

中国市場へ新型食品成形機、ヨーロッパ市場に食肉用新型食品成形機を投入。
インド・アフリカ・中東諸国の市場開拓。

【食品製造販売事業】

米国連結子会社の新工場検討。

②利益基盤の強化

・生産性向上

製菓・製パンラインの標準化。

オートストアやDNCラインなど大型生産設備の導入・更新。

PLMシステムと連動させたMESシステムの稼働。

③経営基盤の強化

・サステナビリティ推進

事業を通じた環境・社会課題への貢献。

自動化、省人化に向けた食品生産ラインの提案。

食品製造過程における食品ロス削減。

CO2排出量の削減と自家消費型太陽光設備の導入。

・サステナビリティ経営推進

ガバナンス強化。

人的資本強化に向けた人事制度や福利厚生の充実。

外国人採用や女性活躍など多様性の推進。

グローバル人材の育成。

(2) 株主還元の強化

業績や経営環境等を総合的に勘案し、株主還元のさらなる充実を図るため、この度配当方針を一部変更いたします。

(配当方針) 2026年3月期配当より適用

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を最重要政策として位置付けており、将来にわたる事業展開のための内部留保の充実などを総合的に勘案し、資本コストと株価を意識した経営の実現に取り組んでまいります。株主の皆さまには、連結配当性向40%以上を目標として、今中期経営計画期間中（2026年3月期から2028年3月期）は、安定配当を目的に「累進配当」を行うことを基本方針としてまいります。

※下線部が変更箇所となります。

(3) IR活動の充実

株主・投資家との対話機会の増加や当社事業活動の積極的な情報開示に努めてまいります。また財務情報に加えて非財務情報についても開示を充実してまいります。

以 上